

当院でヘリコバクター・ピロリの感染診断および除菌治療 を受けた患者様へ

ヘリコバクター・ピロリ感染症は胃癌の最大の危険因子であることが判明し、また、除菌による胃癌の発癌抑制効果が報告されたことから、2013年からヘリコバクター・ピロリ感染胃炎に対し保険診療で除菌治療ができるようになりました。実質的にヘリコバクター・ピロリ感染者全員が除菌可能となり、除菌治療を受ける方が増加しています。除菌治療は酸分泌抑制薬と抗生物質の組み合わせで行われ、従来は酸分泌抑制薬としてプロトンポンプインヒビターという薬剤が用いられておりました。近年、除菌成功率の低下による不成功例の増加が問題となっていました。2015年にカリウムイオン競合型アシッドブロッカーという新しい酸分泌抑制剤が登場し、プロトンポンプインヒビターを用いた治療よりも除菌率の向上が期待されています。また、通常の治療で不成功となった方や、アレルギーのある方での除菌方法は確立されておらず、これらの方でもカリウムイオン競合型アシッドブロッカーを用いた除菌治療が試みられておりますが、その効果は現時点ではまだ詳しくわかっておりません。

そこで、当院でヘリコバクター・ピロリの除菌治療を行った方の情報の集計を行い、プロトンポンプインヒビターとカリウムイオン競合型アシッドブロッカーを用いた除菌治療の成績を比較することで、最適な治療方法を検証することとしました。

通常の治療結果についてカルテを参照して集計するだけです。皆様にご負担はございません。また、皆様の個人情報特定されないように、データの取り扱いには十分に配慮を行います。どうか調査の趣旨をご理解いただき、ご承認をくださいますよう、お願い申し上げます。調査対象は、2010年1月1日から2018年12月31日までに当院でヘリコバクター・ピロリの除菌治療を行った方となります。

この調査内容については、JAとりで総合医療センターの臨床研究倫理審査委員会にて審査を受け、承諾を得ています。なお、調査に協力したくないご希望がある場合、主治医もしくは当院にお伝えしていただければ調査対象から除外することが可能ですので、お申し出ください。

問い合わせ先：

J Aとりで総合医療センター

消化器内科 河村貴広

〒302-0022 茨城県取手市本郷 2-1-1

電話 0297-74-5551 (平日 9:00-17:00)